

支援センターだより

古庄自動車学校・清水自動車学校に 「犯罪被害者支援募金自動販売機」設置!!

平成22年から「犯罪被害者支援募金自動販売機」を県内47施設へ設置し、着実に広がりを見せていた矢先、本年4月より県保有施設である警察署等の自動販売機が競争入札制度の導入により、警察施設に設置されていた11台が撤去され、更に、売上げが少ない自動販売機については、設置先様の負担になることを理由に3台撤去され、3月末時点で33台に減少してしまいました。

そこで、中部ペプシコーラ販売株式会社と米久ベンディング株式会社に更なる設置拡充に向けたPRの強化を依頼し、加えて、株式会社ダイドービバレッジ静岡にも協力していただけることになり、この度、古庄自動車学校（静岡市葵区）と清水自動車学校（静岡市清水区）に設置することができました。

今後も、支援募金自動販売機を拡充し、安定財源の確保に努め、犯罪や交通事故の被害にあわれた方々への支援活動に活用させていただきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いします。



古庄自動車学校 前田兵衛代表取締役様(右)と
ダイドービバレッジ静岡 太田次長様



清水自動車学校 杉山金剛校長様(左)と
内藤専務理事(中央)とダイドービバレッジ静岡 太田次長様

～目次～

- 古庄自動車学校・清水自動車学校に
「犯罪被害者支援募金自動販売機」設置
- 「平成24年度第1回理事会・総会」開催報告
- 静岡県警察 木下辰雄警察相談課長 ご挨拶
- 平成23年度会計収支報告・平成24年度会計収支予算
- 平成23年度相談受理状況・直接支援状況
- 直接支援近況報告
- 講演会開催のお知らせ
- NHK歳末たすけあい助成事業「初級・継続研修会」開催
- 賛助会費納入者・寄付者一覧・寄付のお願い

静岡県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
NPO法人(特定非営利活動法人)

静岡犯罪被害者支援センター



電話相談

054-651-1011

受付時間：10時00分～16時00分

(土・日・祝日・年末年始を除く)

「平成24年度 第1回理事会・総会」開催

5月19日(土)午後1時30分から静岡県職員会館「もくせい会館」において第1回理事会が開催されました。議題として、

- ①平成23年度事業報告、会計収支報告
- ②定款の一部改正
- ③各種規程の一部改正
- ④平成24年度事業計画、活動予算

について討議されました。

更に、同会場において総会が開かれ、理事会で了承された議案について説明し、満場一致で承認されました。

今年度は、NHK歳末たすけあい助成事業として犯罪被害相談員や直接支援員、支援ボランティアの「初級・継続研修会」を開催し、活動員の資質向上を図りたいと考えております。

また、財政面では、支援募金自動販売機の設置協力企業や団体を募り、社会貢献の一環として『犯罪被害者支援』を呼び掛け、安定した財政基盤を構築するよう努めていきます。



(平成23年度活動報告、収支報告並びに平成24年度収支予算については、P4,5に掲載)

～平成24年度 組織概要～

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	松井 純	(株)静岡新聞社・静岡放送(株)取締役会長	特別顧問	木宮 和彦	常葉学園名誉理事長・学園長
副理事長	森 則夫	浜松医科大学精神科教授	顧問	山上 皓	東京医科歯科大学名誉教授
副理事長	白井 孝一	静岡県弁護士会・法テラス静岡副所長	顧問	安倍 徹	静岡県教育長
副理事長	福永 博文	浜松学院大学短期大学部教授・静岡県臨床心理士会会員	顧問	高木 孝	静岡県自治会連合会会長
理事	柴田 俊一	(社福)浜松いのちの電話研修委員長	顧問	梅澤 収	静岡大学教育学部長
理事	磯田 雄二郎	静岡大学大学院人文社会科学部研究科教授	顧問	高柴 慎治	静岡県立大学国際関係学部長
理事	神部 英子	静岡県臨床心理士会会員	顧問	佐野 裕子	静岡県警察本部警務部長
理事	山田 起男	(株)やまだ代表取締役	顧問	望月 正人	静岡県弁護士会副会長
理事	清水 英之	トラスト生涯学習センター所長	顧問	鈴木 勝彦	(社)静岡県医師会長
理事	小柳津 茂助	静岡県自治会連合会相談役	顧問	郡 昭男	(財)静岡県交通安全協会専務理事
理事	小澤 巖	静岡県総合教育センター教授	顧問	野村 節夫	(社)静岡県安全運転管理協会専務理事
理事	池田 剛志	静岡県弁護士会・弁護士	顧問	古屋 達男	(社)静岡県防犯協会連合会専務理事
理事	麻生 絵美	静岡県弁護士会・弁護士	顧問	堤 京一	(財)静岡県暴力追放運動推進センター専務理事
専務理事	内藤 恭治	特定非営利活動法人静岡犯罪被害者支援センター事務局長	顧問	鳥羽 茂	静岡県ボランティア協会事務局長
監事	勝山 靖久	税理士	顧問	清澤 郁子	被害者遺族
監事	鈴木 礼子	司法書士	顧問	小林 房枝	被害者遺族
事務局長：内藤 恭治 事務局員：藤原 智代、坪井 邦彰、望月 一代 非常勤職員：丸山 恵子			参与	後藤 知子	浜松医科大学精神科・臨床心理士
			参与	活洲 みな子	静岡県教育委員会社会教育課長
			参与	木下 辰雄	静岡県警察本部警務部警察相談課長
			参与	杉本 吉隆	静岡県教育委員会社会教育課主幹

ご挨拶

静岡県警察本部 警務部 警察相談課
課長 木下 辰雄



今春、警察本部の警察相談課長を命ぜられました木下でございます。よろしくお願い申し上げます。

静岡犯罪被害者支援センターの皆様方には、設立以来、きめ細やかな支援活動や広報啓発活動などにご尽力されておりますことに深く敬意を表するとともに、厚くお礼申し上げます。

さて、毎年多くの方が理不尽な事件・事故に巻き込まれており、不幸にして犯罪被害に遭われた方々は、犯罪等による直接的・精神的な被害だけでなく、その後が生じる経済面等様々な問題による二次的被害に苦しむことも少なくありません。

犯罪被害者が早期に平穏な生活を取り戻すためには、県民の理解と協力が不可欠であり、地域社会が一丸となって犯罪被害者を支援していくことが重要であります。

警察では、中学生や高校生など次世代を担う若

者に対して、命の大切さを考えてもらう「命の大切さを学ぶ教室」に取り組んでおります。

この「命の教室」では、犯罪被害者遺族等の生の声を直接聞いてもらい、犯罪から受けた様々な「痛み」や子供を亡くした親の思い、家族の「絆」など犯罪被害者等が置かれている過酷な境遇や命の大切さなどについて理解を深め、「犯罪を犯してはならない、犯罪を許さない」という規範意識を向上させようとするものであります。

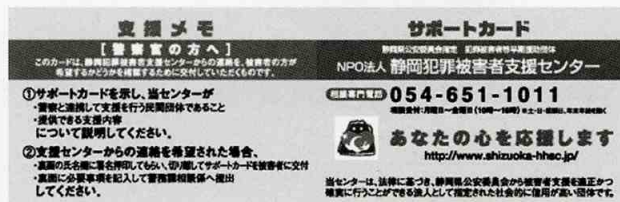
犯罪被害者支援をより充実させていくためには、まだまだ多くの課題がありますが、引き続き犯罪被害者支援活動に積極的に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後とも、静岡犯罪被害者支援センターの皆様を始め、関係の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

～県警犯罪被害者支援室との連携～

静岡犯罪被害者支援センターは、静岡県公安委員会から被害者支援を適正かつ確実に行うことができる非営利の法人として「犯罪被害者等早期援助団体」に指定されているため、事件や交通事故を取り扱った警察から被害者やご遺族の方々の同意を得て、被害者の方の情報を当センターへ提供していただき、早期に支援体制に入ることができています。現在、下記の『サポートカード』を活用し、支援活動に従事しております。

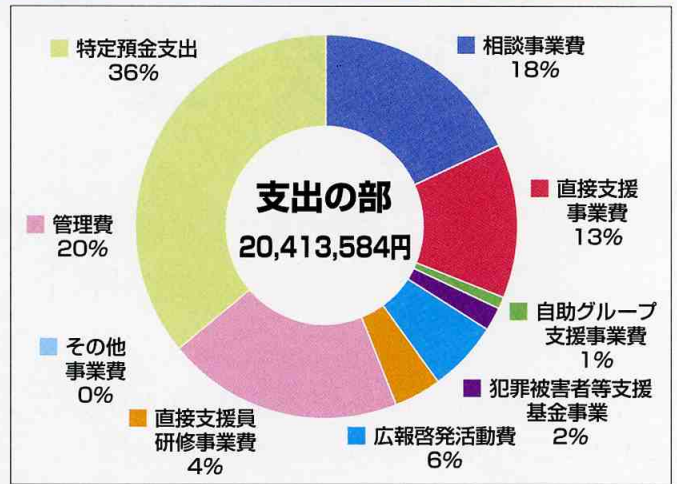
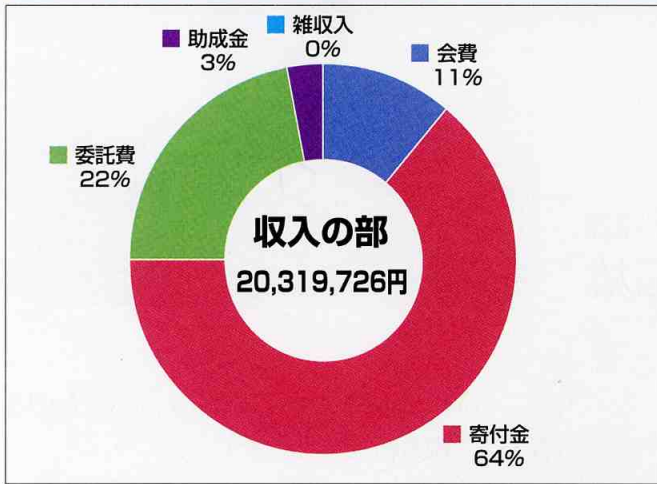
【サポートカードの流れ】

- 支援メモ（連絡先等が記載された半券）
県警犯罪被害者支援室を経由し、当センターが連絡をする。
- サポートカード（相談番号が記載された半券）
被害者やご遺族に交付。



今後とも、犯罪被害者支援室や県下27警察署と連携を強化し、安心して相談していただけるように努めていきたいと思っております。

平成23年度 会計収支報告



(単位:円)

(単位:円)

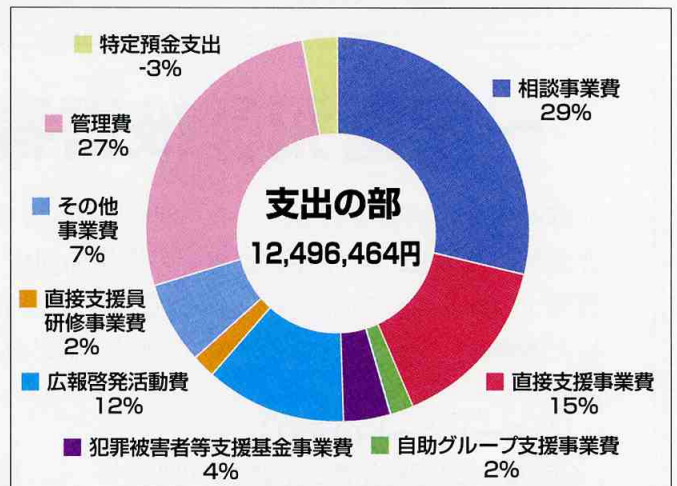
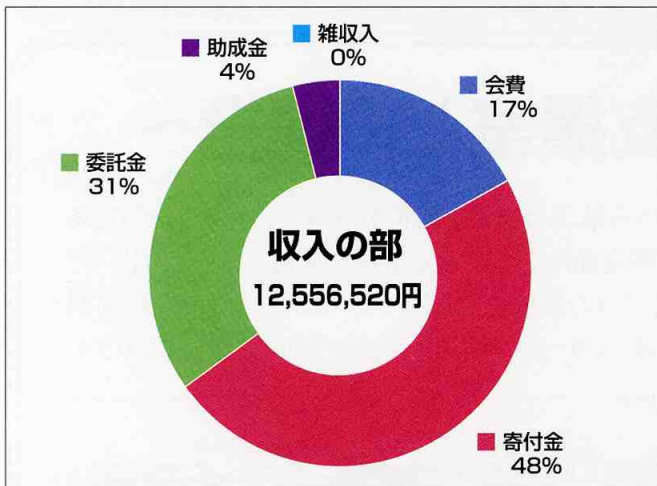
科目	23年度	22年度	差額
会費	2,141,877	2,481,000	△ 339,123
寄付金	13,017,517	7,818,465	5,199,052
委託費	4,414,050	3,817,800	596,250
助成金	683,000	584,000	99,000
雑収入	63,282	330,335	△ 267,053
収入合計	20,319,726	15,031,600	5,288,126

科目	23年度	22年度	差額
相談事業費	3,767,234	2,607,683	1,159,551
直接支援事業費	2,662,864	2,088,655	574,209
自助グループ支援事業費	152,551	122,514	30,037
犯罪被害者等支援基金事業	329,880	0	329,880
広報啓発活動費	1,139,886	1,005,417	134,469
直接支援員研修事業費	861,261	393,753	467,508
その他事業費	88,518	297,903	△ 209,385
管理費	4,114,101	3,061,564	1,052,537
特定預金支出	7,297,289	2,823	7,294,466
支出合計	20,413,584	9,580,312	10,833,272

23年度は、認定NPO法人申請をし、名古屋国税局の審査を受けた結果、特別会計(特定預金)として扱っておりました「犯罪被害者支援基金」についても通常会計に計上するよう指導を受け、寄付金として組み入れたため、寄付金収入が大幅に増額しました。これにより、認定が見送りとなりましたが、その他の会計処理や付随書類等は適正に管理されているとの評価をいただきました。今後も、適正な会計処理に努め、再度、認定NPO法人取得を目指していきたいと思っております。

また24年度は、会員及び「犯罪被害者支援募金自動販売機」設置を拡充し、安定財源を確保し、犯罪被害者支援活動が途切れることがないように努めていきます。更に、支援活動を実施する上で、犯罪被害相談員・直接支援員の協力は必要不可欠であることから、少額ではありますが活動費を支給し、活動しやすい環境づくりにも努めていきます。

平成24年度 会計収支予算



科目	予算額
会費	2,200,000
寄付金	6,000,000
委託費	3,857,520
助成金	479,000
雑収入	20,000
合計	12,556,520

科目	予算額
相談事業費	3,398,000
直接支援事業費	1,966,220
自助グループ支援事業費	259,300
犯罪被害者等支援基金事業費	550,000
広報啓発活動費	1,630,000
直接支援員研修事業費	587,000
その他事業費	900,000
管理費	3,654,944
特定預金支出	△ 449,000
合計	12,496,464

平成23年度 相談受理状況

1. 受理件数

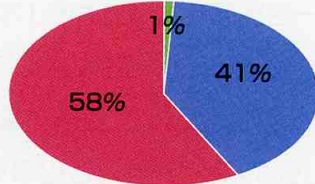
(件)

相談内訳	件数
電話相談	204
面接相談	12
法律相談	9
合計	225

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

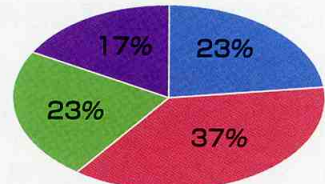
電話相談 男女別

■ 男性 83件 ■ 女性 118件
■ 不明 3件



電話相談 地域別

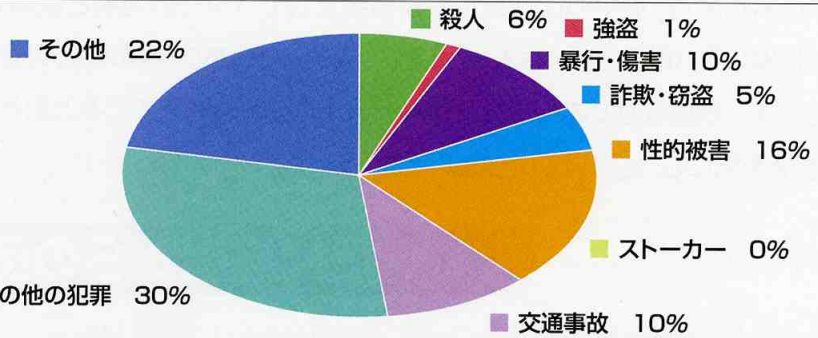
■ 東部 46件 ■ 中部 76件
■ 西部 47件 ■ 県外・不明 35件



2. 電話相談内容

(件)

内容区分	件数	前年比
殺人	13	△ 2
強盗	1	0
暴行・傷害	20	△ 1
詐欺・窃盗	11	5
性的被害	32	△ 9
虐待	0	△ 2
D V	0	△ 6
ストーカー	1	△ 2
交通事故	21	△ 3
その他の犯罪	61	△ 5
その他	44	△ 12
合計	204	△ 33



<特徴・傾向>

- 相談件数は、年々減少傾向にあるが、消費者問題や犯罪以外の相談が減少し、本来業務である犯罪や交通事故等の相談が主体となってきている。
- 性被害相談では、幼児・少女が被害にあい、且つ、加害者側も少年の場合が多く、そのため相談されるご家族が20代後半～30歳代と若いため、被害者へのケアに対する不安や裁判の流れ、示談交渉等に悩まれ、相談をされるケースが目立った。

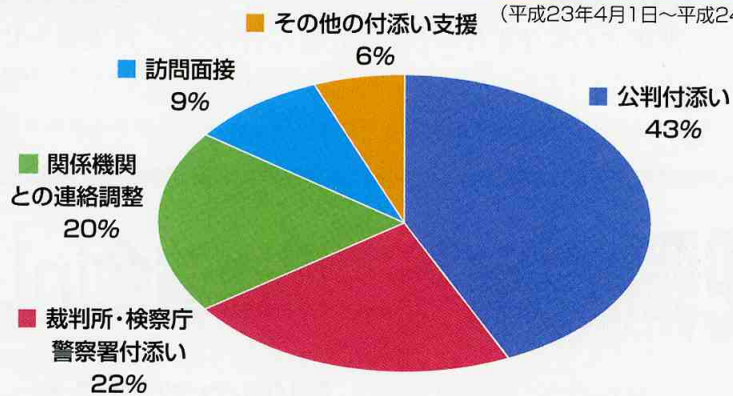
平成23年度 直接的支援状況

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

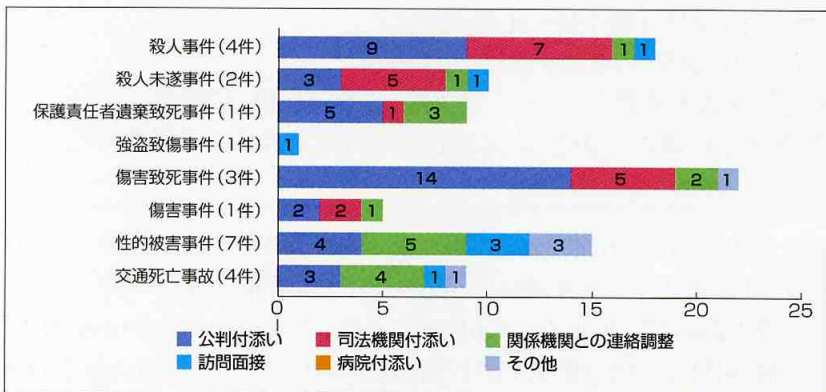
1. 支援件数

(件)

支援内容	支援件数	前年比
公判付添い	38	5
裁判所・検察庁・警察署付添い	20	△ 4
関係機関との連絡調整	18	△ 24
病院付添い	0	△ 1
訪問面接	8	△ 15
その他の付添い支援	5	3
合計	89	△ 36



2. 事件例



3. 情報受理端緒別

(件)

警察情報	23(16)
相談から移行	6
その他	1
合計	30

※()内は、直支移行件数。

4. 地域別

(件)

東部	14
中部	5
西部	4
県外	0
合計	23

<特徴・傾向>

- 性被害事件の支援が多く、特に女兒・少女被害の強制わいせつ事件が多かった。
- 東部(富士・沼津・三島等)で発生した事件の支援が目立ったが、支援を多く取り扱う中で、各警察署担当者と当支援センターの連携が強化され、事件直後に当支援センターを紹介していただいているものとうかがえる。
- 中部、西部においても同様に事件は発生していると思われるので、サポートカードを有効活用し、被害者のニーズにできる限り添えるよう、各警察署と連携を密にし、今後も対応をしていきたい。

ぎふ犯罪被害者支援センターとの連携について

4月12日午後、ぎふ犯罪被害者支援センター吉田事務局長様から1本の電話が入りました。

内容は、愛知県において発生した事件で、犯人が静岡県で逮捕され、岐阜県在住の被害者が、静岡地裁において5月14日から開かれる裁判に参加するとのことで、付添い支援への協力要請でした。

すぐに、当センター内藤事務局長と支援担当者が打合せをし、吉田事務局長様と支援内容の確認をし、望月相談員(事務局員)を中心に岐阜犯罪被害者支援センター担当者と連絡を取り合い、当日を迎えました。

4日間に及ぶ裁判でしたが、被害者の方の努力もあり、無事に公判を終えることができました。

今後も、他県在住の被害者からの付添い支援等も増えてくると思われるので、他県の被害者支援センターとも連携を密にし、協力していきたいと思っております。

～支援担当者からの感想～

被害者は職場で被害にあわれ、今でも仕事中に恐怖心を懐くそうです。

被害者にとっては二度と思い出たくない事件ですが、犯人を絶対に許せないという強い思いから裁判で証言をしました。

犯人を目の前にして証言がどんなに大変で困難なことであったことか。

そんな被害者の緊張を和らげるため、被害者の手に濡れたハンドタオルを握らせ、寄り添い支援を

しました。

判決では、被害者の証言が全て認められ、重い刑が下りました。被害者は、「被害者参加して本当に良かった。」とほっとされていました。

今回、被害者の方が県外で、裁判初日に初めてお会いするという不安がありました。しかし、岐阜の支援員の方が、裁判二日目まで付き添われ、その後支援を引き継ぎましたが、順調に支援できたと思います。(望月相談員)

「犯罪被害者等支援講演会inしずおか2012」

～開催のお知らせ～

- 日時 平成24年11月25日(日)午後1時～午後4時
場所 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール
主催 NPO法人静岡犯罪被害者支援センター、静岡県、静岡県警察、静岡市
内容 第1部 大阪教育大学附属池田小学校 児童殺傷事件ご遺族による講演
第2部 演奏会



「犯罪被害者週間」(11月25日～12月1日)において、毎年開催しております「犯罪被害者等支援講演会」を上記のとおり開催します。

第1部講演では、平成13年6月8日に発生した大阪教育大学附属池田小学校事件において、娘さん(当時7歳)を亡くされたご遺族からお話を伺います。

事件から10年以上が経ちましたが、ご遺族の現在の心境を伺い、犯罪被害者支援について考えてみませんか?

なお、詳細については、10月下旬にホームページ等でお知らせいたします。

NHK歳末たすけあい助成事業 平成24年度 初級・継続研修会

NHK歳末たすけあい助成事業

平成24年度 初級・継続研修会カリキュラム

研修会場:芙蓉ビル2階 会議室(支援センター入居ビル同じ)

回	日 時	対象	講 座 名	講 師 等
1	4月27日(金) 10:30~12:00	全員	1. 委嘱状交付式・認定書授与式 2. オリエンテーション	白井センター長 事務局
2	5月19日(土) 15:30~16:40	全員	【特別講演】 かながわ犯罪被害者サポートステーションについて	神奈川県安全防犯局安全安心部 犯罪被害者支援課長 権野こずえ 様
3	6月11日(月) 10:30~12:00	23年度 受講生	電話相談の特質とその専門性について	神部理事・ 臨床心理士
4	6月11日(月) 13:30~15:30	全員	性被害の実態と ワンストップセンターの役割 相談業務・直接支援状況報告	SACHICO 代表 加藤治子 様 事務局及び支援員
5	8月3日(金) 13:30~15:00	全員	被害者の理解	被害者遺族、池田弁護士、 坪井事務局員
6	8月24日(金) 13:30~15:00	全員	面接相談技術	いばらぎ被害者支援センター 事務局次長 森田ひろみ 様
7	9月4日(火) 10:30~12:00	23年度 受講生	ロールプレイによる電話相談の実習Ⅰ	磯田臨床心理士
8	10月2日(火) 10:30~12:00	23年度 受講生	ロールプレイによる電話相談の実習Ⅱ	磯田臨床心理士
9	10月2日(火) 13:30~15:30	全員	支援者のストレスとサポート 相談業務・直接支援状況報告	帝塚山大学 教授 三木善彦 様 事務局及び支援員
10	12月11日(火) 10:30~12:00	23年度 受講生	ロールプレイによる電話相談の実習Ⅲ	磯田臨床心理士
11	12月11日(火) 13:30~15:00	全員	精神的疾患を抱えた相談者の相談の 受け方と被害者の心的な症状について 相談業務・直接支援状況報告	昭和大学精神医学教室 精神科医 白川 美也子 様 事務局及び支援員
12	2月8日(金) 13:30~15:00	全員	相談業務・直接支援状況報告 弁護士における被害者支援と 事例検討会	事務局及び支援員 白井センター長 (弁護士)

※ は、初級研修を実施。

No.	研修時期	研修名	参加予定人数
1	6月30日(土)、7月1日(日)	東海・北陸ブロック研修会(愛知)	3名
2	9月28日(金)	全国犯罪被害者フォーラム(東京)	5名
3	9月29日(土)~9月30日(日)	秋期全国研修会(東京)	5名
4	11月中旬(2日間)	東海・北陸ブロック研修会(愛知)	2名(上級者)

静岡県共同募金に助成申請をした結果、「NHK歳末たすけあい助成事業」として、本研修会が認められ、去る4月27日からスタートしました。

研修会は、来年2月8日まで全12回を予定し、その内、4回は初級研修として、昨年度の養成講座を修了した9名が、ロールプレイ等を体験しながら電話相談の基礎を学びます。

更に、助成を受けたことにより、県外の有識者を講師として呼びし、ご講義をいただきます。

まず、県・県警・民間被害者支援センターの三者が一体となって活動されております『かながわ犯罪被害者サポートステーション』の実態を伺います。

更に、県内でも増加している性犯罪被害者に対する支援について、性暴力救援センター・大阪(SACHICO)の取組みを伺います。

また、長年にわたり犯罪被害者支援活動に関わっておられ、帝塚山大学において心理学を担当されておられます三木教授(臨床心理士)をお招きし、電話相談や付添い支援等に関わる犯罪被害相談員や直接支援員に対する心のケアについて伺います。

皆様からの温かい浄財により、充実した研修が行われておりますことを、心から感謝申し上げます。

研修会で学んだことを、実践に活かし、犯罪被害者やご遺族の方々が安心して相談できるように努めていきたいと考えております。



支援センターの運営を支えてくださる皆様

～こころより感謝申し上げます～

平成24年3月1日～平成24年5月31日

アイウエオ順(敬称は略させていただきます。)

赤松 茂	朝比奈 幹夫	麻生 絵美	熱川防犯協会
熱海警察署	熱海商工会議所	飯田 喜一	石渡 恵
磯田 由美子	伊藤園産業(株)	イハラ観光(株)	今野紙工(有)
磐田警友会	遠藤 守	大石 知明	大石 貴代美
大庭 茂利	大仁警察署	小楠 和男	(株)織田工務店
織田 史子	落合 安子	表富士工業団地協同組合	小柳津 茂助
掛川警察署	片田 弘子	勝山 靖久	加藤 由記子
兼松 泉	川崎工業(株)	川島 のり子	菊川警察署
菊川警友会	菊池 信廣	清澤 郁子	久保田 明
栗原 藤男	桑原 勝義	小池 婦美子	河本 恵美子
湖西警察署	湖西地区安全運転管理協会	後藤 榮	後藤 千代子
(株)コブレック	櫻井 彰利	佐野印刷(株)	JA静岡市上土支店
JA静岡市あさはた支店	JA静岡市あさはた北支店	JA静岡市足久保支店	JA静岡市安東支店
JA静岡市井川支店	JA静岡市内牧支店	JA静岡市大河内支店	JA静岡市大里支店
JA静岡市大谷支店	JA静岡市長田支店	JA静岡市国吉田支店	JA静岡市久能支店
JA静岡市しづはた支店	JA静岡市銭座支店	JA静岡市玉川支店	JA静岡市千代田支店
JA静岡市豊田支店	JA静岡市中藁支店	JA静岡市北部じまん市	JA静岡市丸子支店
JA静岡市美和支店	JA静岡市八幡支店	JA静岡市藁科支店	(社)静岡県安全運転管理協会
静岡県経済農業協同組合連合会	静岡県警察官友の会大仁支部	静岡県警察官友の会静岡南支部	静岡県警察官友の会富士支部
静岡県警察官第50期会一同	静岡県警察本部犯罪被害者支援室	(一財)静岡県交通安全協会	静岡県交通安全協会伊東地区支部
静岡県交通安全協会磐田地区支部	静岡県交通安全協会清水地区支部	静岡県交通安全協会沼津地区支部	静岡県交通安全協会藤枝地区支部
静岡県交通安全協会富士宮地区支部	静岡県交通安全協会三島地区支部	静岡県交通安全協会焼津地区支部	静岡県交通安全協会蒲原地区支部
静岡県交通安全協会静岡南地区支部	静岡県司法書士会	(社)静岡県柔道整復師会	(公社)静岡県防犯協会連合会
NPO法人静岡県ボランティア協会	静岡県遊技業協同組合	静岡市遊技業組合	静岡中央警察署第82期短期課程卒業生7名
静岡中央地区安全運転管理協会	静岡鉄道(株)	静岡南警友会	静岡保徳(株)
島田警察署	島元 正彦	清水地区安全運転管理協会	下田警察署
(株)シャンソン化粧品	准也基金(代表 朝比奈幹夫様)	杉山 一統	鈴木 博子
鈴木 弘之	高林 秀人	田口 芳徳	竹田 昌久
田子の浦埠頭(株)	田中 広子	中部機電サービス(株)	(有)東京興業
永野 ひろ子	日機装(株)静岡製作所	日本ハイウェイセーフティ研究所	沼津警友会
沼津警察署	沼津地区安全運転管理協会	浜北警察署	浜北地区安全運転管理協会
浜松市自治会連合会	浜松商工会議所	浜松東地区職域防犯協会	浜松遊技業組合
原木 英三	伴 信彦	宗教法人日限地蔵尊	福地 明人
福永 博文	藤枝地区安全運転管理協会	富士信用金庫	芙蓉監査法人
(株)芙蓉リサーチ	星 泰雄	星野 健兒	堀江きよ『心の扉Vol6』コンサート
蕎麦庵まえ田	牧之原警友会	(株)マキヤ	松本 喜代子
三島商工会議所	三島地区安全運転管理協会	三井 義廣	明成警備保障(株)
望月 威男	森 則夫	焼津市保護司会	安本 節子
山本 正幸	吉川 正宏	割鞘 健太郎	支援センター内 募金箱
匿名 24名			

《賛助会員・寄付のお願い》

静岡犯罪被害者支援センターの活動は、皆様の寄付金等で支えられています。
当支援センターの主な活動として、電話相談、直接的支援、支援員の養成・研修、広報啓発活動等を行っています。
被害者支援活動の趣旨にご賛同いただき、ご支援ご協力をお願いいたします。

賛助
会費

法人・団体
個人

10
10

10,000円以上
2,000円以上

賛助会員の方々には、広報誌「支援センターだより」などをお送りしています。
また、被害者支援講演会等のイベントを開催する際には事前にお知らせいたします。

【振込口座】 郵便振替：口座番号 00870-7-50944
【加入者名】 静岡犯罪被害者支援センター

ホームページアドレス

<http://www.shizuoka-hhsc.jp>

後援

静岡県警察本部
静岡県犯罪被害者支援連絡協議会

発行 行 NPO法人 静岡犯罪被害者支援センター
〒420-0032
静岡市葵区両替町1-4-15 芙蓉ビル4階
発行責任者 専務理事兼事務局長 内藤 恭治
発行月 平成24年 7月